人形劇の名舞台を振り返る
Play Back the Stage

1989

『雪をんな』チラシ

これまで、ひまわりホールで観劇した人形劇で、より印象深く心に残る作品を名舞台として紹介したい。

まずは、むすび座の『雪をんな』である。演出は丹下進。三味線やそすけの語りで、原作・小泉八雲の世界を美しく描いて見せてくれた。和紙でつくられた人形は観るものに想像の世界を膨らませた。やそすけのしっとりとやわらかな語り口と和紙の人形の動きが絶妙にコラボレーションしていた。雪女と巳之助の緊迫した展開は観客を惹き付け、雪女の妖しさと哀しさ、そして儚さを十分堪能させてくれた。

次は、ひと組による『時代横町』である。作・演出は麻想けい子。地元の伝説や民話を題材にして、麻創けい子が涙と笑いの見ごたえある作品に仕上げた。特に1作目の印象は衝撃的だった。“見るラジオドラマ”と銘打たれたとおり、朗読で創出されたイメージ空間の中で視覚的なファクターが生きているような独特なパフォーマンスが生み出された。2001年に始まり、今日までシリーズ作品として上演されているのもすごい。

それから、須藤三男脚本・演出の『おもての行列なんじゃいな』。原作・筒井康隆、脚本・須藤三男。一般の大人が楽しめる人形劇をという須藤三男の願いを十分叶えるに足る、質の高いステージだった。舞台は至って簡素。上手に丸い飯台が一つのみ。その横で、煙草屋で85歳になるアル中の主人公が、焼酎をあおりながら独り語りをする。デフォルメされた文学作品は、さらにファンタジックにデフォルメされた人形劇に生まれ変わった。

オブジェクト・パフォーマンス・シアター
『トワワイルスタ』

2011

そして、損保ジャパンビルのテラスで上演されたオブト（オブジェクト・パフォーマンス・シアター）の大型野外人形劇『トワワイルスタ』。舞台は東北大震災の地。主人公の少女Ichigoは、さらわれた恋人をさがしに旅に出る。Ichigoの日記の現実と人形劇のメルヘンの世界とが二層になって描かれた。まだ震災のダメージ感が覆うあの年に上演。被災地へのオマージュとして、これは特別に印象深い人形劇作品となっている。

愛知人形劇センター理事　澤田修一

Report

束の間の癒しを届けるべく 鹿児島県徳之島に大遠征!

文化庁による「次のにない手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業」として、パペットシアターゆめみトランク『かぐやひめ』&井上あずみミニコンサートが、2021年1月20日に鹿児島県徳之島にて上演されました。出演は、パペットシアターゆめみトランク（人形劇）、ラストラーダカンパニー（クラウン）、そして多くのスタジオジブリ作品テーマ曲を歌う歌手、井上あずみさんです。

ソーシャルディスタンスを保つ客席に100名を越える親子連れが来場。ロビーではクラウンの二人がスタッフに混ざりお客さんの検温や手指の消毒をしたりして、感染対策も楽しくしっかりと行いました。

第1部の人形劇『かぐやひめ』では、観客はぐっと物語の世界にひきこまれていきます。かぐやひめに求婚する皇子たちの顛末に大いに笑いが起こり、かぐやひめが月へと帰っていく別れのクライマックスでは、井上あずみさんが登場し『かぐやひめ』のテーマ曲をライブで熱唱。切なくも美しいラストシーンを盛り上げました。

幕間のクラウンショーではアクロバティックな大道芸とシュールなコメディが観客を沸かせます。積み重ねたローラーの上に立つバランス芸をしながらのフルート演奏に観客はハラハラドキドキ。大きな拍手とともに舞台は第2部のコンサートへと続きます。

さあ、お待ちかね! 誰もが知る『となりのトトロ』のテーマ曲とともに元気なあいさつで登場した井上あずみさん。……あれ、車いす!? 実は、年末に階段を踏み外し、なんと両足首を骨折してしまったそうです。でもそんなことは気にさせないほどの歌声とパワーで、子どもたちをやさしく歌の世界へと引き込みます。『君をのせて』『カントリーロード』『めぐる季節』などスタジオジブリ作品の名曲を熱唱。『崖の上のポニョ』ではクラウンの二人も登場し、手を上げたり振ったりする簡単な振り付けを観客のみなさんと一緒に踊りました。カーテンコールは『さんぽ』。出演者全員が舞台上に登場してなんと賑やかなこと! 会場中が大きな手拍子に包まれました。

コンサート中、井上あずみさんが「本当なら、大きな声で一緒に歌いたいよね、心の中で一緒に歌おうね。」と会場の子どもたちに呼びかけるのを聞いて、やっぱり少しだけさみしさを感じてしまいましたが、観客のみなさんからは「生でプロのパフォーマンスを見れるのは本当に楽しかった」といった声や「心にたくさん栄養補給できました」といった大変多くの感想を頂き、みなさんに喜んでいただけたことが何よりでした。

このコロナ禍にあっても、万全の感染対策をして公演を実施してくださった徳之島町文化会館、スタッフ、出演者のみなさん、そして会場へ足を運んでくださった観客のみなさんへ心から感謝したいと思います。

愛知人形劇センター理事　ゆみだてさとこ

井上あずみさんを囲んで記念ショット

パペットシアターゆめみトランク

ラストラーダカンパニー

名称変更のお知らせ　2020年4月1日からの社名変更に伴い、会場名が**「損保ジャパン人形劇場ひまわりホール」**となりました。

特定非営利活動法人
愛知人形劇センター
〒460-8551　名古屋市中区丸の内3-22-21
損保ジャパン名古屋ビル8F
TEL 052-212-7229　FAX 052-212-7309
http://aichi-puppet.net/　MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌
Aichi Puppetry Center あっぷ
通巻315　2021年冬号
発　行：特定非営利活動法人　愛知人形劇センター
発行人：高橋一元
編集人：中康彦
デザイン：江利山浩二（KINGS ROAD）
編　集：小島祐未子（実務の編集舎）

©愛知人形劇センター　※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。

Aichi Puppetry Center
あっぷ
ひまわりホールから
発信する
シアター情報誌

2021 WINTER
VOL.315
http://aichi-puppet.net/

逆境の時も、人形とともに――

オブジェクト・パフォーマンス・シアター『トワワイルスタ』
（2011年公演、作：菅野直子、演出：木村繁）